

平成 23 年度近畿ブロック「環境 NGO・NPO レベルアップ研修」実施状況の概要

(1) 目的・趣旨

本研修は、環境 NGO・NPO のリーダーに必要とされる考え方の基盤、素養、知識、能力、技能を、(再)発見し、熟慮し、実践への準備の機会として、枝葉の技術ではなく、ステークホルダーに信頼され、創造的な活動を可能にするリーダーシップの基盤を身につけることを目的とした。

地球温暖化、生物多様性をはじめとした地球規模の環境問題にみられるように、また東日本大震災と福島原発の重大事故によって問題があきらかになったように、日本は、そして世界は文明の大きな転換点にたっている。

このような時期に必要とされる環境 NGO は、自立した個性ある存在であり、かつ他の社会セクターとのパートナーシップを築き具体的な活動を展開し、さらに環境 NGO 活動の新たな領域を切り拓いていく、社会的影響力ある存在である。日本では、多くの環境 NGO や環境団体が活動をしており、一定の成果をあげてはいるが、依然としてこのような社会的影響力のある NGO、団体は限られている状況である。

そこで「現代の日本社会と環境 NGO が必要としているリーダーになろう」をテーマに講義、活発に活動する環境及び関連課題の NGO/NPO のリーダーによる事例紹介と経験談、及びワークショップを組み合わせを行い、参加者が、地域社会、日本社会を変えていく一つの力になりえる NGO や団体のリーダーに自らを育成する基盤を学ぶものとした。

(2) プログラム概要

① 開催日時

平成 23 年 10 月 29 日 (土) 9:30~17:00
10 月 30 日 (日) 9:30~17:00
11 月 12 日 (土) 9:30~17:00
11 月 13 日 (日) 9:30~14:30

② 会場

京都私学会館 (京都府京都市下京区室町通高辻上る山王町 561)

③ 対象者及び参加人数

【対象】

- ・ 環境 NGO/NPO 等でリーダーシップを求められている理事、職員、ボランティアの方
- ・ 環境 NGO/NPO、ボランティア活動のリーダーをめざしている方
- ・ 環境分野に関連する活動をしている NGO/NPO でリーダーシップを求められている方
- ・ 原則全 4 回参加可能な方

【参加人数】 22 人

④ 開催プログラム及び講師

【プログラム】

■ 1 日目 (10 月 29 日 (土))

講師 NPO 法人環境エネルギー政策研究所 所長 飯田哲也氏
NPO 法人環境市民 代表理事 杵本育生

講義&ワークショップ

環境 NGO の活動事例とリーダーの役割 事例 1, 2
リーダーに求められる明確な将来ビジョンとミッション
聴く力、伝える力
問題からの活動発想、課題からの活動発想
パラダイムシフトの重要性
問題、課題をビジョン、ミッションにつなげる方法

■ 2 日目 (10 月 30 日 (日))

講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬昇氏

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎氏
NPO 法人環境市民 代表理事 杵本育生

講義&ワークショップ

他分野の NPO 活動とリーダーの役割から学ぶ 事例 1, 2
自らの団体の影響力とコネクション
社会的影響力拡大のための活動の組み立て方
NGO 活動の評価の機軸

■3 日目 (11 月 12 日 (土))

講師 暮らしを見つめる会 代表 内田洋子氏
NPO 法人環境市民 代表理事 杵本育生

講義&ワークショップ

環境 NGO の活動事例とリーダーの役割 事例 3
時間と資源の使い方分析、選択と自己管理
リーダーシップとマネジメントの考え方と方法
団体と活動の役割分担
個人と団体のビジョンとミッションを描く

■4 日目 (11 月 13 日 (日))

講師 NPO 法人環境市民 代表理事 杵本育生

ワークショップ

個人と団体のビジョンとミッションを描く
ブラッシュアップと交流

(3) 実施概要

●10 月 29 日 (土) 1 日目

NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也氏から、環境 NGO の活動事例とリーダーの役割について、自身が所長をしておられる環境エネルギー政策研究所の例に照らして話していただいた。

次に、自分はどのようなビジョンとミッションを持ち、将来どのような社会を実現したいのかをペアで話し合うワークショップを行った。環境市民の杵本育生氏からは、ビジョンとミッションー聴く力、伝える力ーというテーマで、環境市民はどのようなビジョンを持っているのかからはじまり、NGO・NPO のリーダーには聴く力、眺める力、表現する力が必要であるという解説や、環境 NGO の活動例とリーダーの役割として、環境市民のこれまでの活動について、どうしてそのような活動ができたのかなどを含めた解説があった。その後の、ワークショップでは、まず自分はどのようなことを問題ととらえているかを挙げ、それをどのように活動とするのかを考えた。

最後に杵本氏から、パラダイムシフトー問題と課題ーについて、リーダーに求められる行動について話があった。

●10 月 30 日 (日) 2 日目

社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事の早瀬昇氏と一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏をお招きし、環境分野とは異なる他分野の NPO の活動事例について語っていただいた。

ワークショップでは、自分と団体のポテンシャルやネットワークについてあらためて考えた。杵本氏からは、いかにすれば社会的影響力を高めることができるのか、そのためにはパートナーシップが非常に重要であるという解説があった。他にも、自分や自分の団体は誰から何によって評価されるべきか考えるワークショップがあり、杵本氏からどのように活動評価の基軸をつくるかという話があった。

●11月12日（土） 3日目

くらしを見つめる会代表の内田洋子氏から、これまでの活動を踏まえたリーダーの役割について話していただいた。

杵本氏からは時間と資源の使い方をテーマに、限られた中で有効に利用していくためには自己管理が大切だという解説やリーダーシップとマネジメントの考え方や行動の違いについて解説があった。

ワークショップでは、団体と活動の役割分担として、リーダーはどのようにキャスティングを行っていくべきかグループになって話し合った。

●11月13日（日） 4日目

個人と団体のミッションを描くワークショップを中心に行った。自分が描く夢や社会について、そして、そのためにどのような行動をいつするのかというロードマップを発表し、グループで意見を出し合った。自分のミッションやビジョンについて語り、他の人から意見をもらうという活動は多くの参加者にとってなかなかない貴重な経験になったようである。

●受講者の声

アンケート（回収率95%）では100%が「とても有意義」あるいは「有意義」との回答を得ることができた。記述欄には研修全体について「内容も濃く、宿題もあって、2週間で随分自分が変化した気がします。参加して良かったです」との積極的な評価意見や、開催日程について「土日開催は、平日仕事がある身としては助かりました」などの評価を受けることができた。合計3.5日、時間数にして23.5時間の長丁場であり、学ぶコンテンツも最小限に絞ったものの講義の時間も長くなった。それにもかかわらず受講者には（やむをえぬ事由を除き）ほぼ皆勤での積極的な姿勢で受講をしていただくことができたのは、企画運営者として感服するとともに感謝申し上げたい。

(4)当日の様子



NGO リーダーからの講義に真剣に聴き入る受講者



研修で学んだことを生かして個人のリーダーとしての考えをまとめ共有するワークショップの様子